



これらをふまえ、現在、自治体と連携しながら「想定される危険な地域」を明らかにするための被害予測手法の研究や津波避難に関する研究、「安全にするために必要な対策」として建築物防災対策などの研究に取り組んでいます。今後、低頻度大規模災害やマルチハザード、北海道の課題である厳寒期の災害発生を想定しながら、地域防災力の向上に繋がる調査研究を進めていきます。

(環境防災G 竹内)

トピックス

#### ■道総研「まちづくり塾」の受講者を募集中です

建築研究本部では市町村職員を対象に、研究成果の普及に加え、市町村と当本部がこれからの時代に向かって共に考え成長していくことを目的に、道総研「まちづくり塾」を開催することといたしました。急激な人口減少、超高齢化、自治体財政のひっ迫などの社会情勢に対応するため、「地域運営」「防災」「環境・エネルギー」「建築技術（ストックマネジメント等）」などの研究成果や実践例をもとに、“50年後のふるさとづくり”を共に考えます。申込締切は7月21日（金）です。

詳しくはこちらからご覧下さい。

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/press1/170707.html>

(企画課 盛永)

#### ■神恵内村と津波防災対策に関する連携協定を締結しました

今年度から開始する重点研究「津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開」にて、自治体と協力し、雪や寒さ、暗夜など様々な条件での避難速度や避難経路、避難場所の妥当性などの評価手法、また人口減少や海岸保全施設整備などの要因による一定時間経過後の津波防災対策効果の評価手法などを構築し、それら研究成果を、実際の市町村の防災計画策定に活かしてゆく取り組みを開始します。

そのため、後志管内神恵内村と津波防災に関する連携協定を締結することとなり、7月6日に神恵内村にて高橋村長と鈴木本部長との間で、協定の調印が行われました。神恵内村は積丹半島西岸の漁村ですが、地形の関係から市街地の大半が津波浸水域になると予測され、速やかな避難をいかにして行うかが、住民の方々の命を守ることに直結するため、研究の成果は、村の津波避難計画などの津波防災のまちづくりに反映されます。

この研究では、複数の自治体と協力して成果の実証的な展開を図る予定としており、他にも釧路管内厚岸町はじめ道内数力所の市町村（連携協定を締結するかは未定）と協力して研究を進めてまいります。

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/koho/press1/170706.html>

(企画課 本荘)

#### ■平成28年度終了課題の調査研究報告、年報などをホームページに掲載しました

北総研のウェブサイトにて平成28年度終了課題の調査研究報告（研究報告書）や研究概要資料を掲載いたしました。また、平成28年度年報も掲載しております。次のURLからご覧になれます。

##### ▼調査研究報告（研究報告書）

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/develop/houkokusho.html>

##### ▼研究概要資料

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/develop/nenpou.html>

(企画課 盛永)

-----  
最近の研究所の動き  
-----

■構造計算適合性判定センターから

□6月の判定業務

受付 18件 (26棟)

結果通知 16件 (19棟)

6月の判定依頼は、福祉施設等が4件、ホテル、倉庫等が各3件、事務所、各種住宅、工場等が各2件のほか、病院、店舗が各1件でした。4、5月の受付件数から大幅に増え、前年同月との比較でも+5件、+10棟と大きく上回るご依頼を頂いております。

さて、今月1日夜23:45ごろ胆振地方中東部を震源とするマグニチュード5.3の地震が発生しました。今回の地震は、政府の「地震調査研究推進本部」にて活動が注視されている『石狩低地東縁断層帯』の近くで発生しました。今のところ断層帯との関係性は認められてはいませんが、昨年発生した熊本地震を始めとして断層帯で発生する地震は、震源までの距離が近いいため大きな被害につながる可能性があります。近年の日本では、地震のほかにもあらゆる自然災害が多発しています。ここで、改めて災害に対する備えを確認しておきましょう。

(構造判定 G 千葉)

■四半期業務報告

平成29年4～6月の受付件数

□依頼試験など (担当：性能評価課)

依頼試験 25件

設備使用 2件

性能評価 3件

課題対応型支援 3件

□施設見学 (担当：企画課)

件数 12件

人数 97名

□技術相談 (担当：企画課)

件数 61件

-----  
イベントご案内  
-----

□8月3日(木) 上川農試公開デー

上川管内には「上川農業試験場」「林産試験場」「北方建築総合研究所」の道総研の3つの機関があり、連携して様々な取り組みを行っています。その一環として、『上川農試公開デー』に今年も出展します。北総研のテーマは「地震に強い建物ってどんなだろう？」です。ペーパークラフト教材“紙ぶるるくん”を使って、建物と地震の揺れの間関係を学ぶことができます。どなたでもご参加いただけます♪

日時：8月3日(木) 10:00～14:00

場所：上川農業試験場 庁舎1階玄関ロビー (上川郡比布町南1線5号)

<http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/kamikawa/22koukaidei.pdf>

(企画課 盛永)

=====

管理者からのお知らせ

=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_n](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n)

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_q](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q)

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

---

発行：(地独)北海道立総合研究機構 建築研究本部

<http://www.hro.or.jp/list/building/research/nrb/index.html>